

# 2025年度 九州情報大学 学生実態調査

# 2025年度学生意識調査について

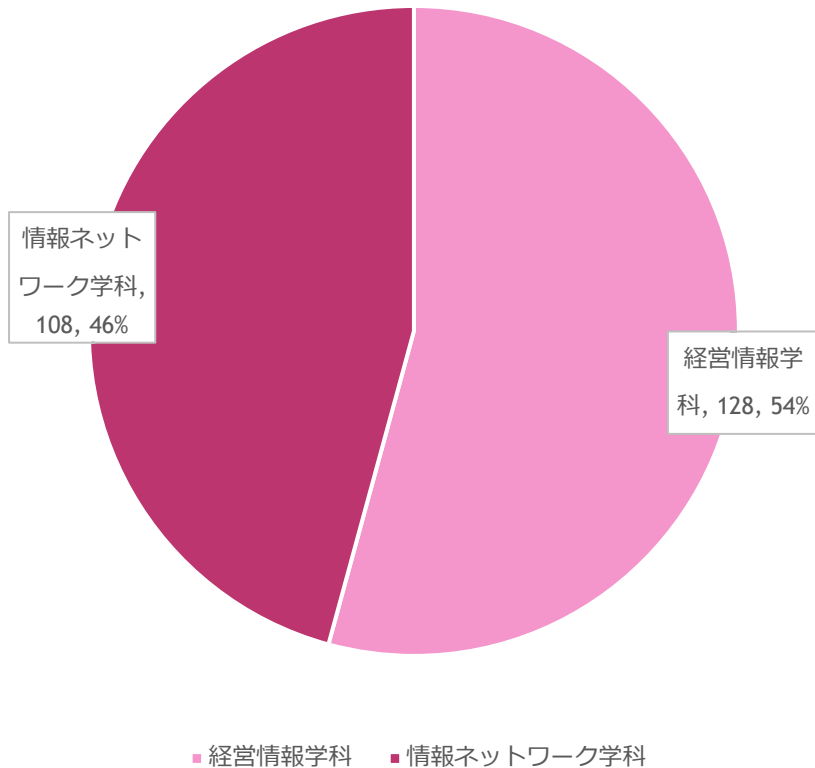
- ▶ 調査対象者：全学年の学部学生
- ▶ 調査日程：2025年9月19日（金）～10月31日（金）であり、236件の回答があった。
- ▶ 調査内容
  1. 基本属性
  2. 大学生の生活
  3. 大学生の学び
  4. 大学生の意識と行動等
  
- ▶ 九州情報大学FD委員会では、調査結果を公表することを原則としており、毎年「学生生活実態調査報告書」として学生へのフィードバックを行うと共に、教職員で情報を共有し、授業等教育活動の見直しに活用している。

# 2025年度学生意識調査について

大項目	設問数
1.あなたの属性	3
2.大学生活への期待	2
3.実際に力を入れたこと	6
4.魅力を感じる授業方法	1
5.大学の施設設備について	4
6.不安への対処法	2
7.大学への期待に対する成果	10
8.将来について	2
9.本学の「建学の精神」「3つのポリシー」についての理解	8
10.大学教育の総合評価	3

- ▶ 学生意識調査の設問には、前年度と比較して変更点は無い。
- ▶ 学修指導が教育指導でもあり学生支援でもあると考えられるため、設問には、教育面と学生生活面と両方の内容を問う項目が含まれている。

あなたの学科はどちらですか？



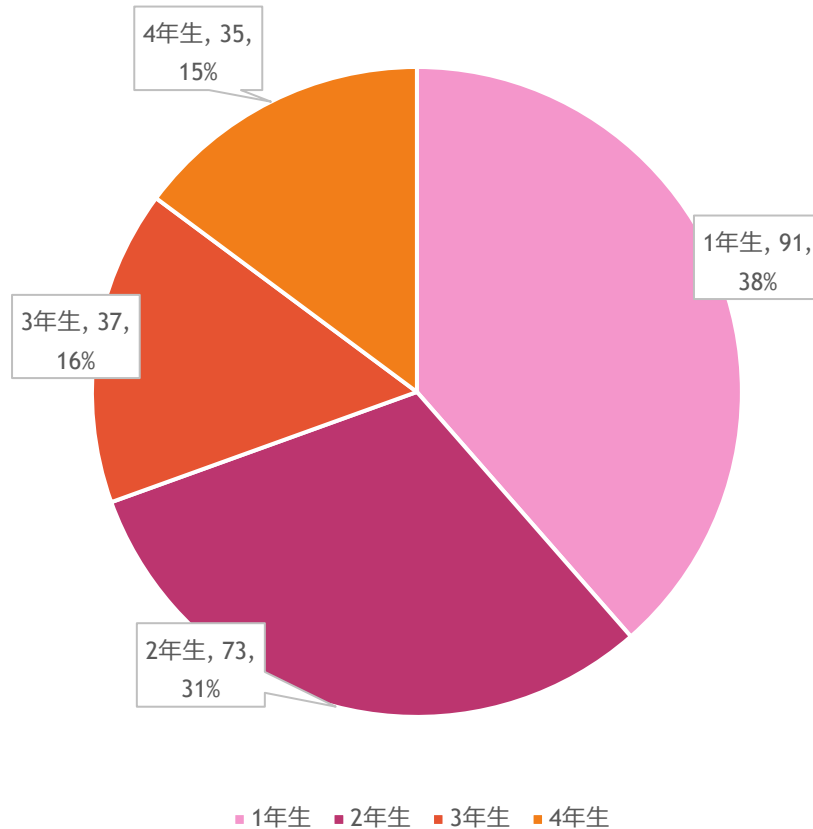
## 1-1 あなたの学科はどちらですか？

- ▶ 回答者の学科属性は、情報ネットワーク学科が54%、経営情報学科がやや多めの46%である。

# 1-2 あなたは何年生ですか？

- ▶ それぞれの学年の比率は、1年生が91名（38%）、2年生が73名（31%）3年生が37名（16%）、4年生が35名（15%）で、学年により多少の偏りがみられる。

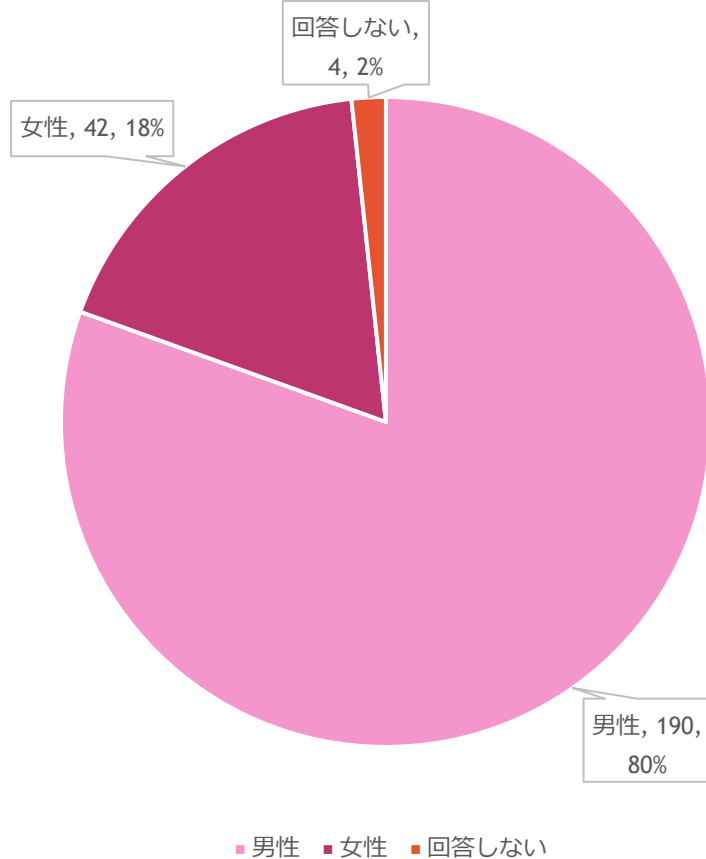
あなたは何年生ですか？



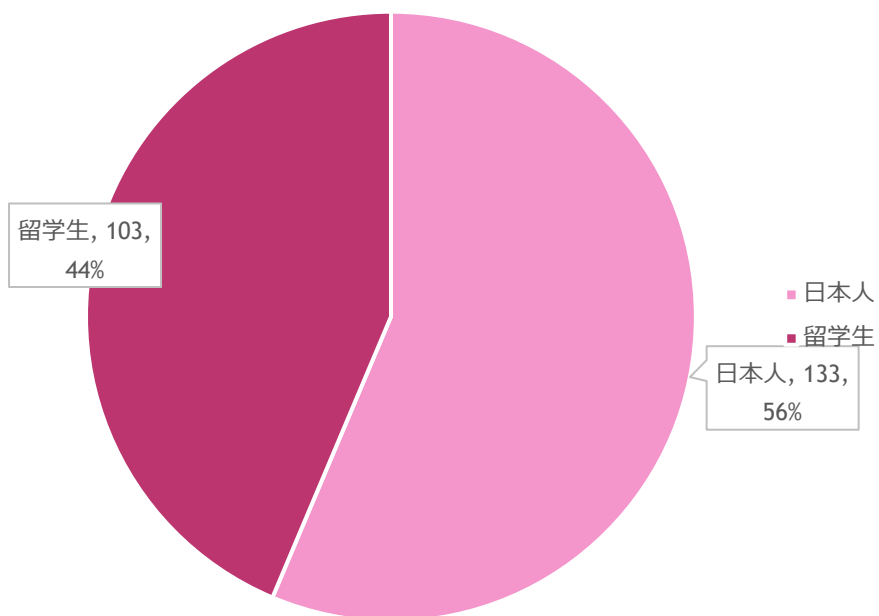
## 1-3 あなたの性別はどちらですか？

- ▶ 回答者の男女比は、おおよそ四対一である。学生のプライバシーに配慮して、「回答しない」という項目も設けている。

あなたの性別はどちらですか？



あなたの性別はどちらですか？



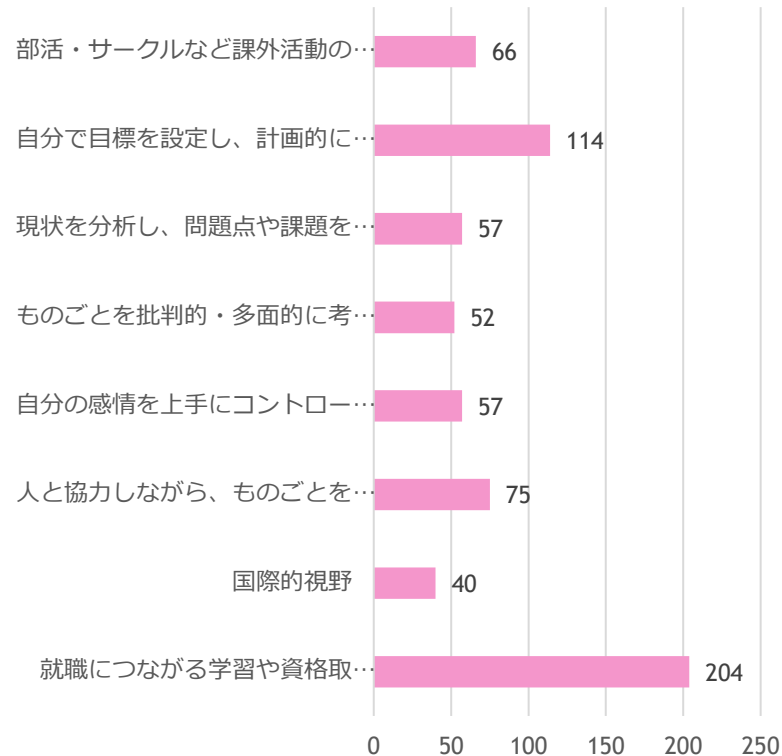
## 1-4 あなたの国籍について教えてください。

- ▶ 回答者の国籍は日本人が56%、留学生が44%である。昨年度は日本人が68%、留学生が32%であった。

## 2-1 大学生活に何を期待していますか？（複数回答可）

大学生活に何を期待していますか？

（複数回答可）



- ▶ 学生に大学生活で期待することを尋ねると、左の表のような結果となった。昨年同様、学生の興味はやはり就職に大きく傾いていることが分かる。それに続くのは、計画性を持って事に当たる力や、他人との協調を図る能力など、人間的に成長をすることを期待していることが分かる。

## 2-1 大学生活に何を期待しています

- ▶ 左は、その他の項目として、選択肢ではなく具体的に内容を書いてもらった部分の解答例である。

---

さまざまな文化の友人を作る機会や、日本語能力を向上させること。」

ないです

なし

なし

はいいまなしです。

自分の成長や将来の仕事に役立つ経験を積みたいです

将来の夢のために必要な資格を調べ、勉強スケジュールを作って少しずつ進んでいます。

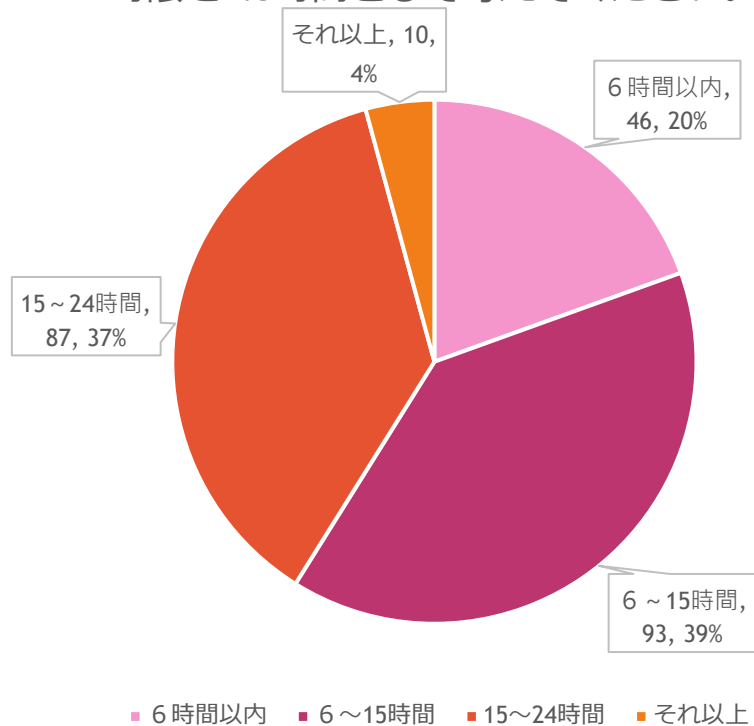
選択肢が「時間がなかった」「お金がなかった」など抽象的だった場合、「子供の世話で時間が取れなかった」「特定のソフトウェアの操作が分からなかった」など、より個別具体的な事情

電車

特にありません

---

3-1 1週間の授業出席時間（遠隔授業時間も含む）は、合計何時間ですか？1時限を1.5時間として考えてください。

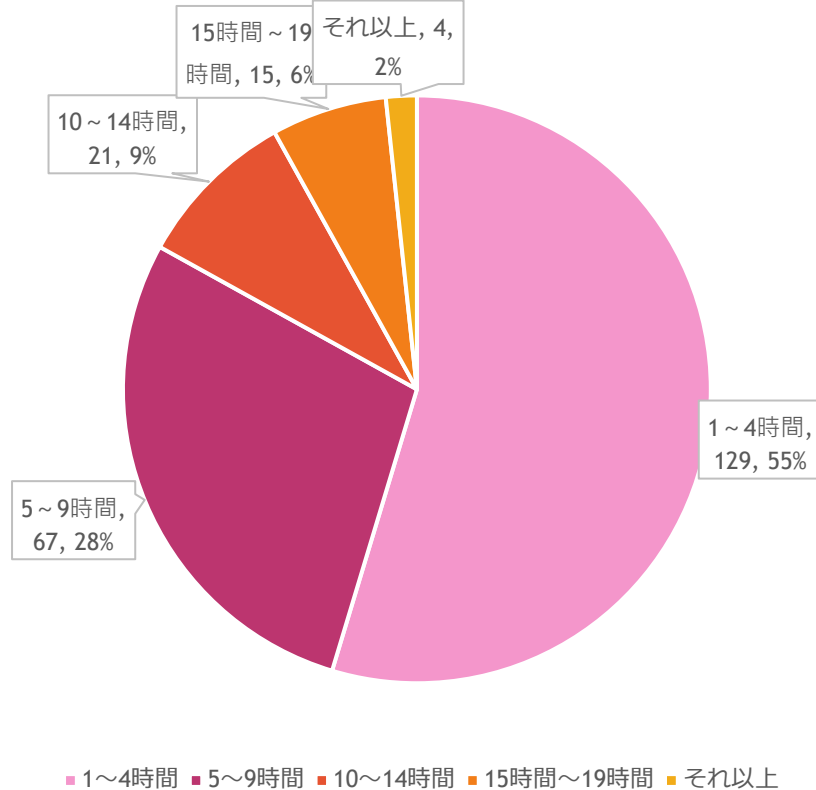


3-1 1週間の授業出席時間（遠隔授業時間も含む）は、合計何時間ですか？1時限を1.5時間として考えてください。

- ▶ 回答者は1年生から4年生まで、全学年に及んでいるため、週1~2時限の授業を受けている学生から、平均して毎日3時間以上授業を受けている学生まで、さまざまであるが、4%程度の学生は突出して授業に取り組んでいることが分かる。

## 3-2 1週間の予習・復習時間は合計何時間ですか？

3-2 1週間の予習・復習時間は合計何時間ですか？



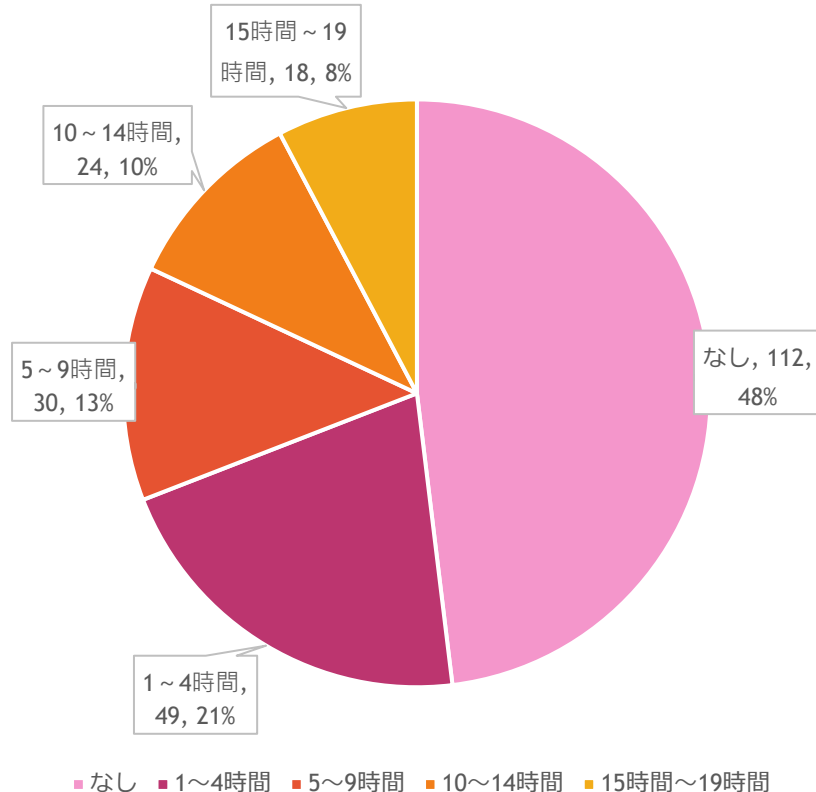
- ▶ 学生の授業以外の学習時間を問うた質問である。結果を見てみると、5割以上が1～4時間程度となっており、先の授業数のデータと引き比べてみると、相当数の学生が十分な学習時間を確保できていないことがわかるが、2024年度のデータと比較すると、62%から55%に減少しており、週に10時間以上学習する学生事後学習への取り組み方に関して学生の割合が14%から17%に増加している。2年間から学生の授業以外の学習時間は増加傾向にある。✕

### 3-3 1週間の部活・サークル活動時間は、合計何時間ですか？

- ▶ 昨年度に引き続き約5割の学生が、何らかの形で部活動を行っている。部活動に取り組んでいる学生の活動時間をみてみると、1~4時間活動する学生が、昨年同様2割を超えており、サークル等で比較的短時間の活動を楽しむ学生が増加傾向にあるようだ。

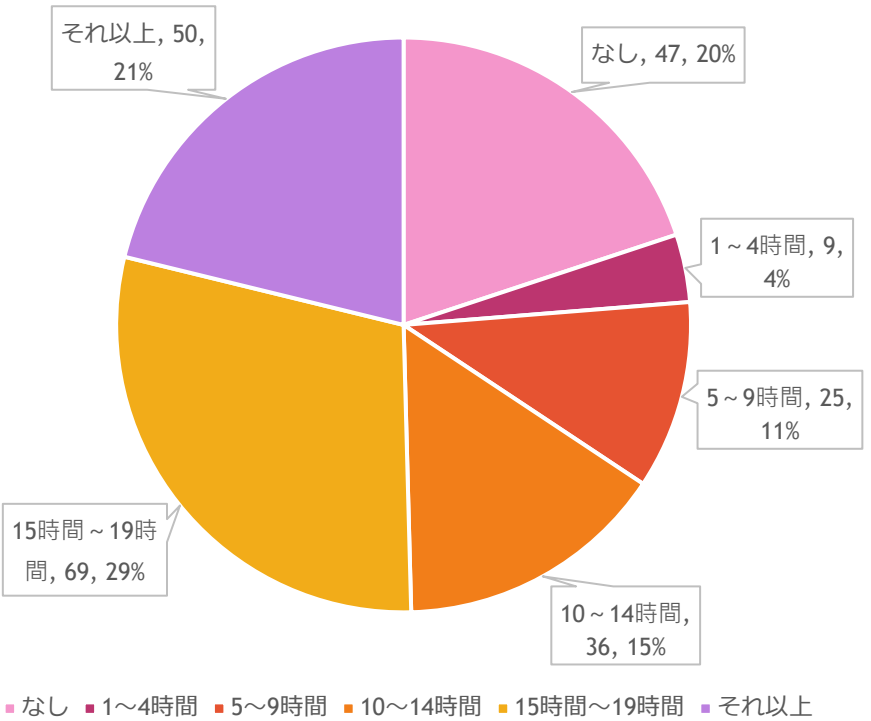
#### 3-3 1週間の部活・サークル活動

時間は、合計何時間ですか？



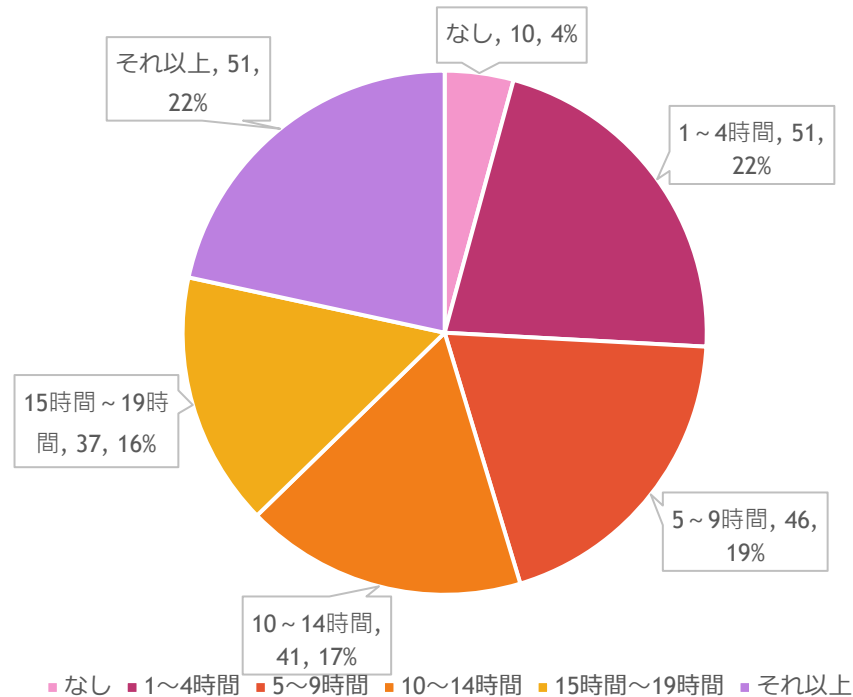
# 3-4 1週間のアルバイトの時間は、合計何時間ですか？

3-4 1週間のアルバイトの時間は、合計何時間ですか？



▶ アルバイトをしていない学生は昨年度の18%から20%に微増しているが、昨年同様5人中4人以上がアルバイトをしている状況である。アルバイトの時間も昨年よりも伸びる傾向がみられ、15時間から19時間の学生が昨年よりも1%増加し29%、それ以上の時間アルバイトをしている学生は、15%から21%に増加している。物価高がより一層学生の経済的負担を増加させている状況がみえる。

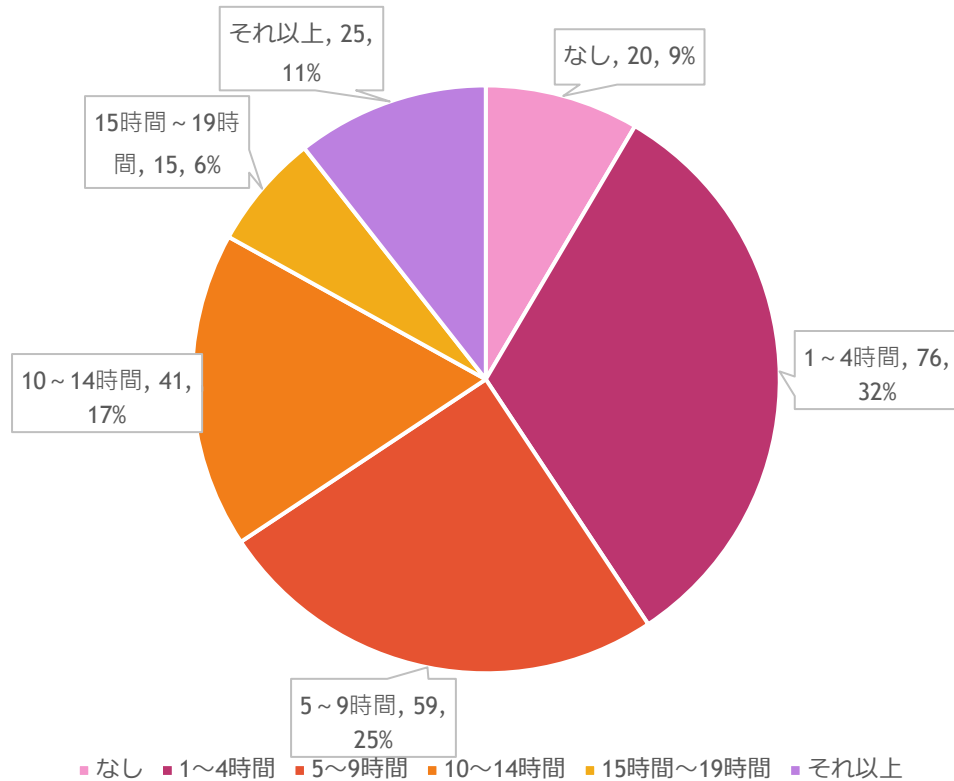
3-5 1週間のインターネットやSNS  
(ゲームを含む)の時間は、合計何時間  
ですか？



## 3-5 1週間のインターネットやSNS (ゲームを含む)の時間は、合計何時間ですか？

- ▶ 学生たちが、自分の生活や嗜好に応じて適宜インターネットやSNSを利用している状況であることがわかる。昨年度よりも使わない学生、より長く使う学生の両方がそれぞれ増加しており、学生間での使用度に差があることがわかる。3-2においてわかった学習時間の増加傾向と使用時間の少ない学生の増加の間に関連性がある可能性もある。

3-6 1週間のうち上記以外の趣味にか  
けた時間は、合計何時間ですか？

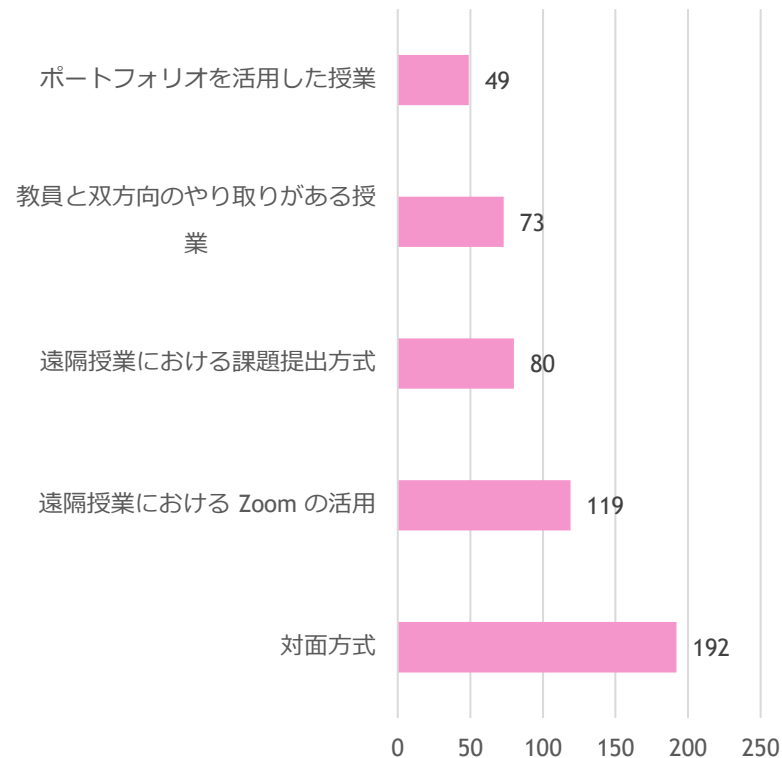


## 3-6 1週間のうち 3-5以外の趣味にか けた時間は、合計何時 間ですか？

- ▶ インターネットに関係しない趣味の分野は「なし」と答えた学生は、昨年同様9%だが、週に4時間以内とする学生は昨年から8%増加している。そのぶん、10~14時間および、15~19時間と回答した学生がそれぞれ1%、そして20時間以上が2%減少している。昨年よりもネット以外の趣味に使う時間が減っている。学習時間の確保のためだけでなく、自由な時間を削ってアルバイトに精を出している学生が少なくないのかもしれない。

## 4-1 魅力を感じる授業方法はどのようなものですか？（複数回答可）

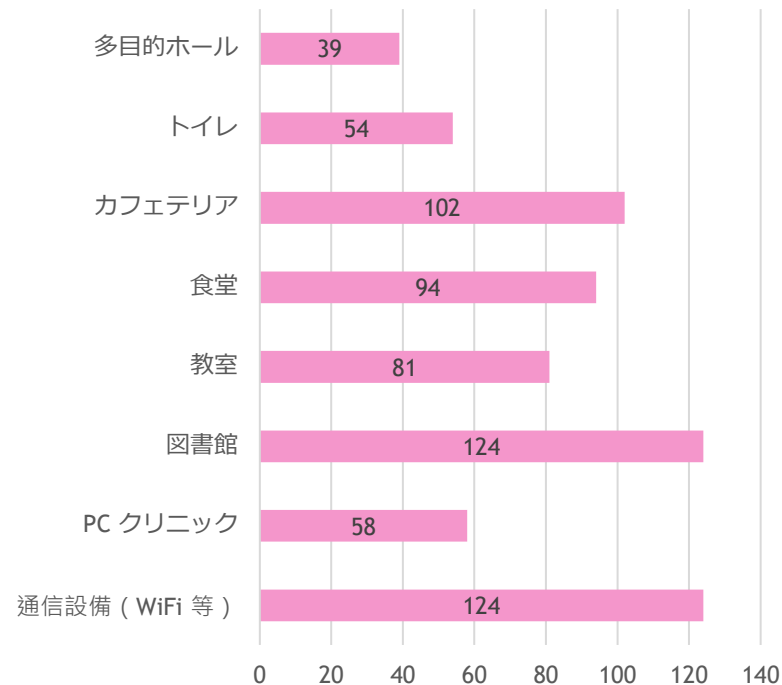
魅力を感じる授業方法はどのようなものですか？（複数回答可）



- ▶ 昨年同様、対面授業が最も好まれている。それ以外の授業形式に魅力を感じる学生も、すべての項目で大きく増加している。ポートフォリオを活用した授業は、25人から49人に倍増し、教員との双方向のやり取りがある授業は64人から73人、遠隔授業における課題提出方式は61人から80人と増加している。Zoomについては、昨年の95人から119人に増加している。
- ▶ 学生が様々な授業形式に魅力を感じるのは良いことだが、これが、学習時間の伸びに余り繋がっていないことが頭の痛い問題である。

## 5-1 大学の施設・設備についてあなたが満足しているものどれですか？（複数回答可）

5-1 大学の施設・設備についてあなたが満足しているものどれですか？（複数回答可）



- ▶ 大学の施設・設備に関しては、例年通り図書館に対する満足度が高い。通信設備やカフェテリア、食堂も、昨年と同じく学生の満足を一定数勝ち得ているようである。
- ▶ 食堂については、引き続き、学生部による補助活動の一環としての食券の割引を行っているため、その成果が今年度も出ていると思われる。
- ▶ 昨年は、2年前のアンケート結果を受けて、学生の声に応えるべく、教室の設備変更やトイレへの荷物置きを設置、多目的ホールの整備などの改善を進めた。PCクリニックは昨年と同程度だが、多目的ホールでは昨年の21人から39人、トイレも44人から54人、教室は66人から81人と学生の満足度が引き続き目に見えて上がっている。

キャリアデザイン

ない

ないからない

ないです

ないです。

なし

なし

椅子（椅子と机を別に  
してほしい）

教室

特にありません

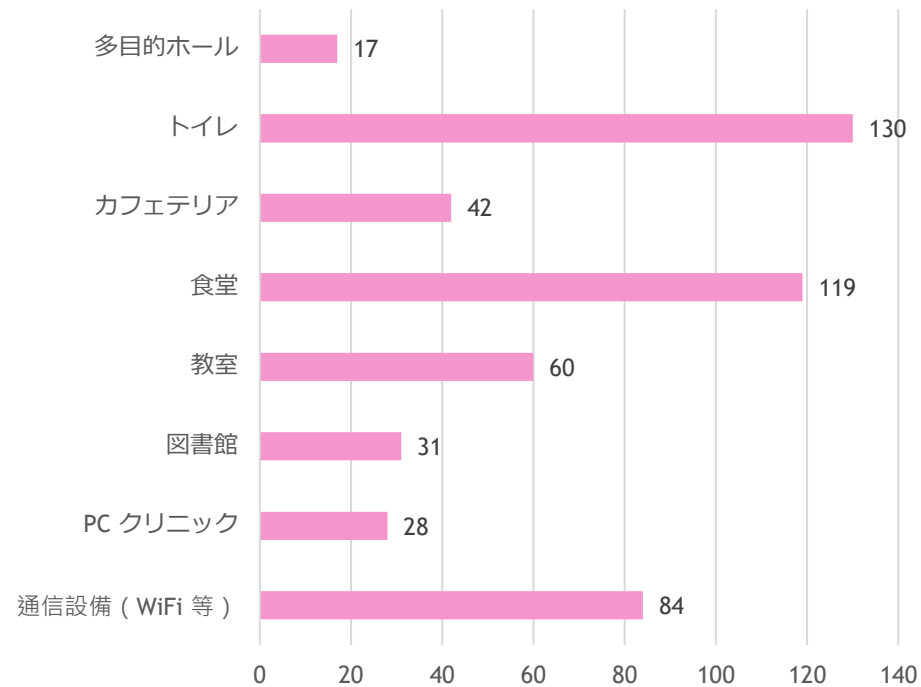
満足も不満足もないか  
ら

## 5-2 上の質問で「その他」と答えた方に質問します。「その他」の具体的な内容を書いてください

- ▶ 左は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

## 5-3 大学の施設・設備についてあなたが満足できないものどれですか？（複数回答可）

5-3 大学の施設・設備についてあなたが満足できないものどれですか？（複数回答可）



- ▶ 大学の施設・設備について、学生が不満を感じているのは、特にトイレと食堂であるという結果となった。5-1の質問との整合性を考えると、図書館やPCクリニックを感じる学生の満足感に特に矛盾はなさそうであるが、食堂は、満足を感じている学生と同じくらい不満を感じている学生がいることがわかる。トイレや通信設備は、5-1で確認したように昨年よりさらに満足度が上がってはいても、それ以上に不満を感じる学生がいるということがわかる。どちらも校内で使いやすい場所と使いにくい場所が混在しているため、なかなか要望に応えるのが難しい部分がある。

1号館にある部室のエアコンを直してほしい

Nothing

いまなしです。

きれい

ない

ない

ないです

ないです

なし

なし

なし

なんかボロい

気にしてない

食堂の電子決済

特にありません

特になし

特になし

特になし

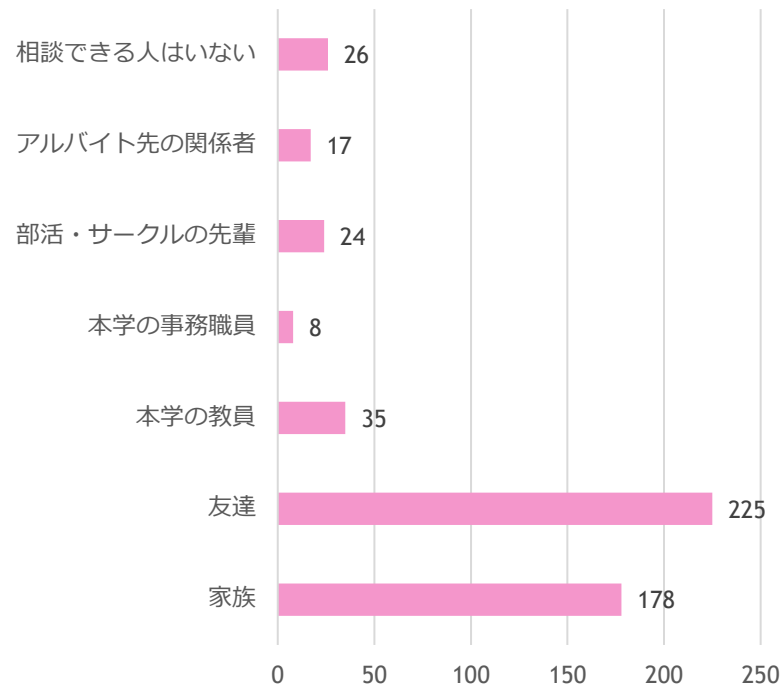
特になし

特に無し

## 5-4 上の質問で「その他」と答えた方に質問します。「その他」の具体的な内容を書いてください

- ▶ 左の表は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

6-1 悩み事や不安なこと、将来のことなどを気軽に話せる人は誰ですか？（複数回答可）



## 6-1 悩み事や不安なこと、将来のことなどを気軽に話せる人は誰ですか？（複数回答可）

- ▶ 相談できる相手として友達や家族が圧倒的に多い。これはある意味当然の結果と考えられるが、教員や事務職員を選んでいる学生もいる。気になるのは「相談できる人がいない」と答えた学生の存在であるが、昨年より13人より倍増し、今年度は26人であった。昨年は減少傾向にあったのだが、いまだに一定数の学生が悩みを一人で抱え込んでいることになる。学生の相談室の存在をより一層周知し、学生が相談しやすい環境を更に整える必要が今後もあると思われる。

AI

ない

ない

ないです

なし

なしです。

特にありません

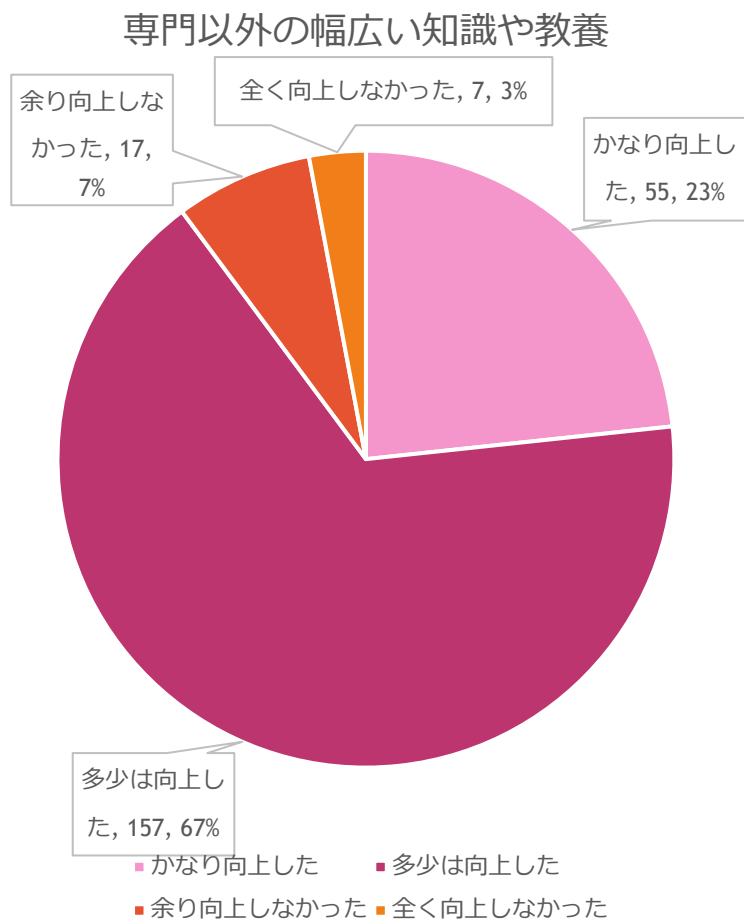
日本語能力テスト

友達に相談します。

## 6-2 上の質問で「その他」と答えた方に質問します。「その他」の具体的な内容を書いてください

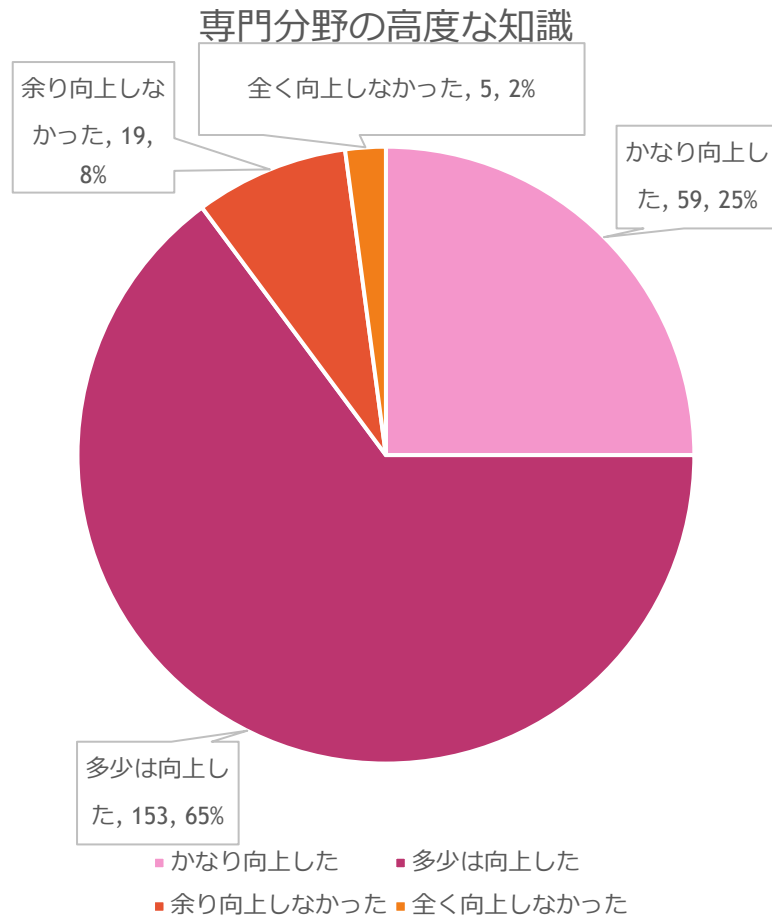
- ▶ 左は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。
- ▶ 時代を反映してか、AIという回答が初めて見られた。

## 7-1 専門以外の幅広い知識や教養



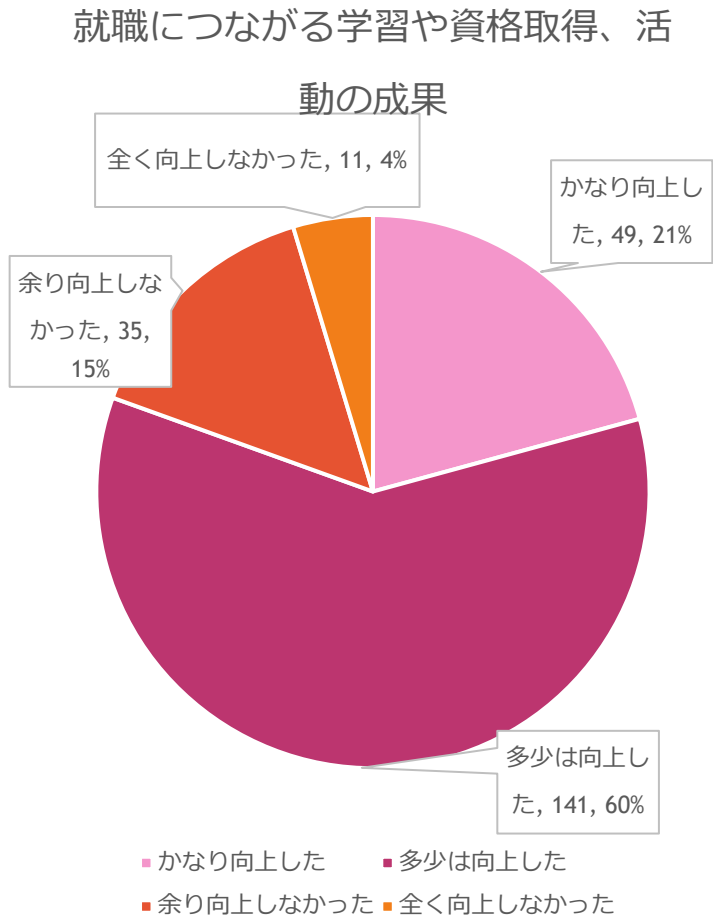
- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。専門以外の幅広い知識や教養については、23%（昨年も23%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、90%（昨年は87%）の学生が向上したと答えている。9割の学生が継続的に自己の成長を感じてくれているのは喜ばしいことだといえよう。

## 7-2 専門分野の高度な知識



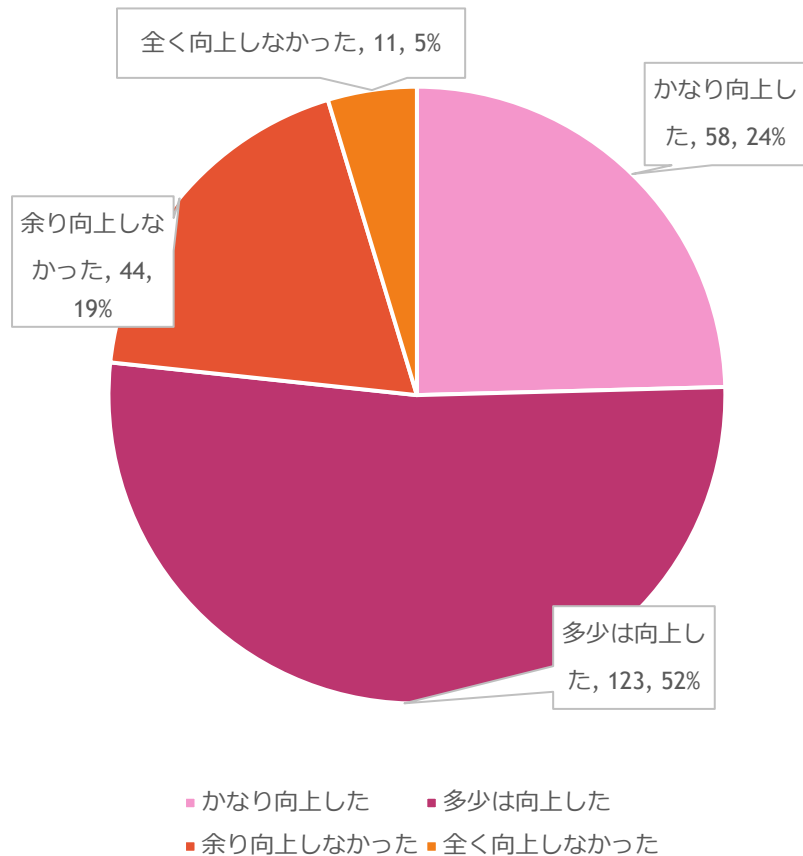
- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。専門分野の高度な知識については、25%（昨年は26%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、90%（昨年は85%）の学生が向上したと答えている。今年度は、9割の学生が学業に手ごたえを感じており、望ましい傾向が続いている。

## 7-3 就職につながる学習や資格取得、活動の成果



- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。就職につながる学習や資格取得、活動の成果については、昨年の18%を上回る21%の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、81%（昨年は78%）の学生が向上したと答えている。向上したと考える学生が昨年から増加し、8割を超えていることは望ましい。CDC等学校側の努力が実を結んでいるようである。

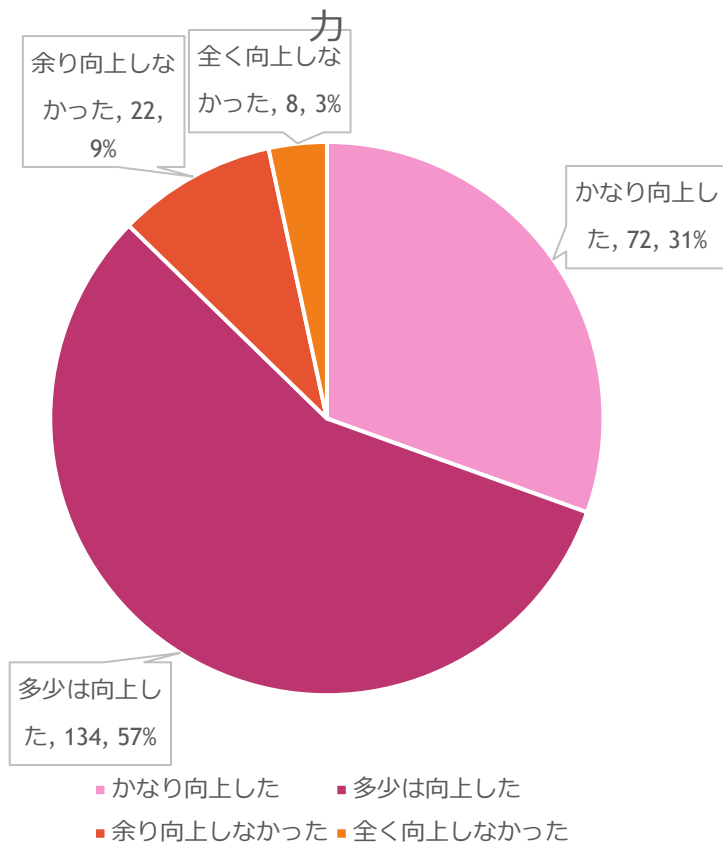
## 国際的視野



## 7-4 国際的視野

- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。国際的視野については、24%（去年は19%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、76%（去年は66%）の学生が向上したと答えている。数値が昨年度よりも10%伸びているのは喜ばしいことである。国籍を超えた学内での交流に加えて、大学祭などで別科の学生と触れ合う機会もあり、国際的視野の向上に役立っていると思われる。

## 人と協力しながらものごとを進める

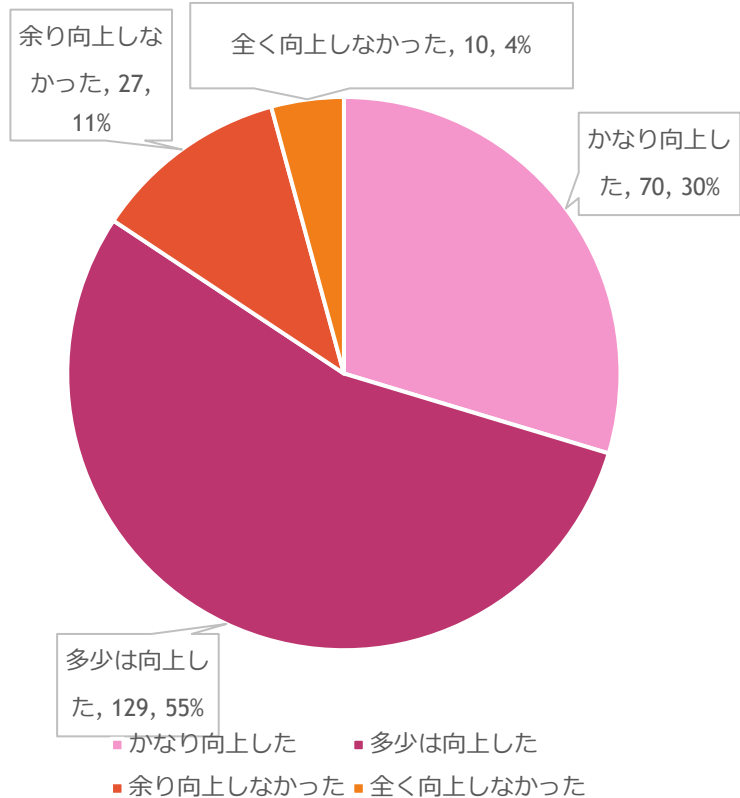


## 7-5 人と協力しながらものごとを進める力

- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。人と協力しながらものごとを進める力については、31%（昨年25%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、88%（昨年は83%）の学生が向上したと答えている。コロナ禍が収束し、部活動やゼミ、学内行事といった、他者と触れ合う機会を取り戻してから、年々他人との協働の力がついたことを実感する学生が増加している。

## 7-6 自分の感情を上手にコントロールする力

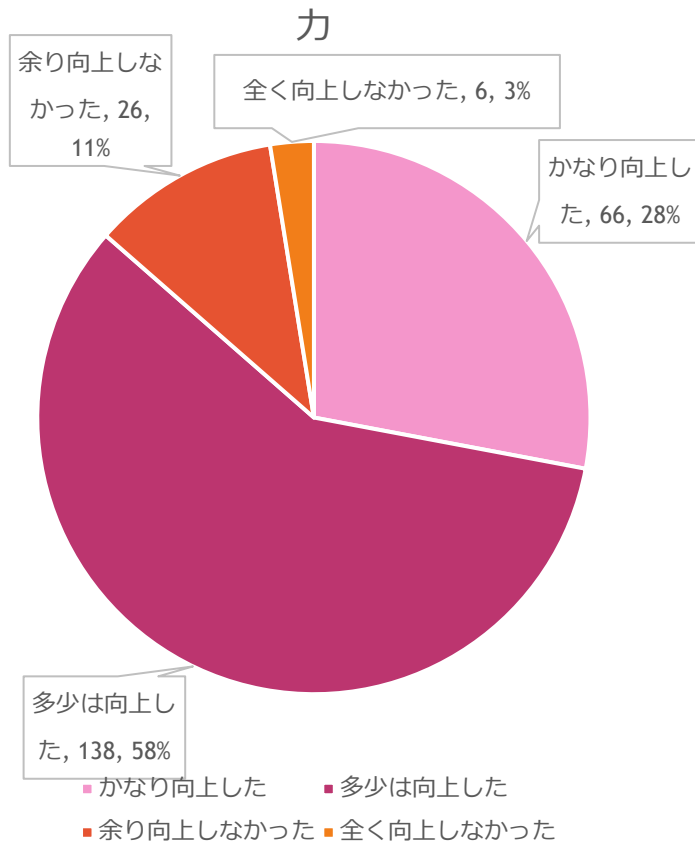
自分の感情を上手にコントロールする力



- 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。自分の感情を上手にコントロールする力については、30%（去年は32%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、85%（去年は86%）の学生が向上したと答えている。昨年同様、8割を優に超える学生が自分の感情をコントロールする力を向上させているという好ましい傾向がみられる。

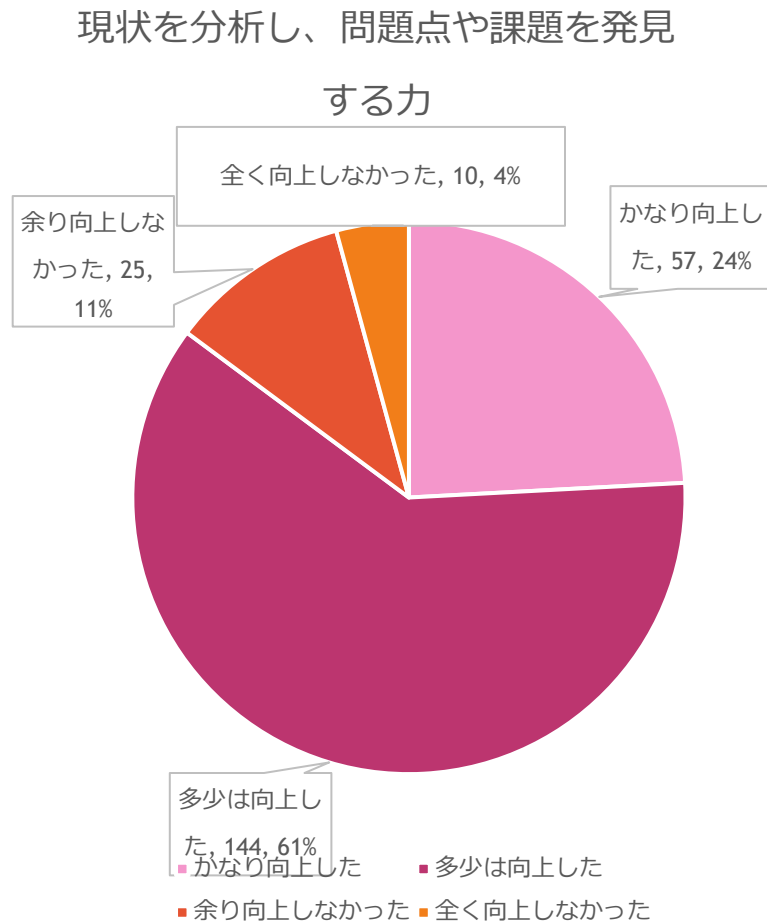
## 7-7 ものごとを批判的・多面的に考える力

ものごとを批判的・多面的に考える



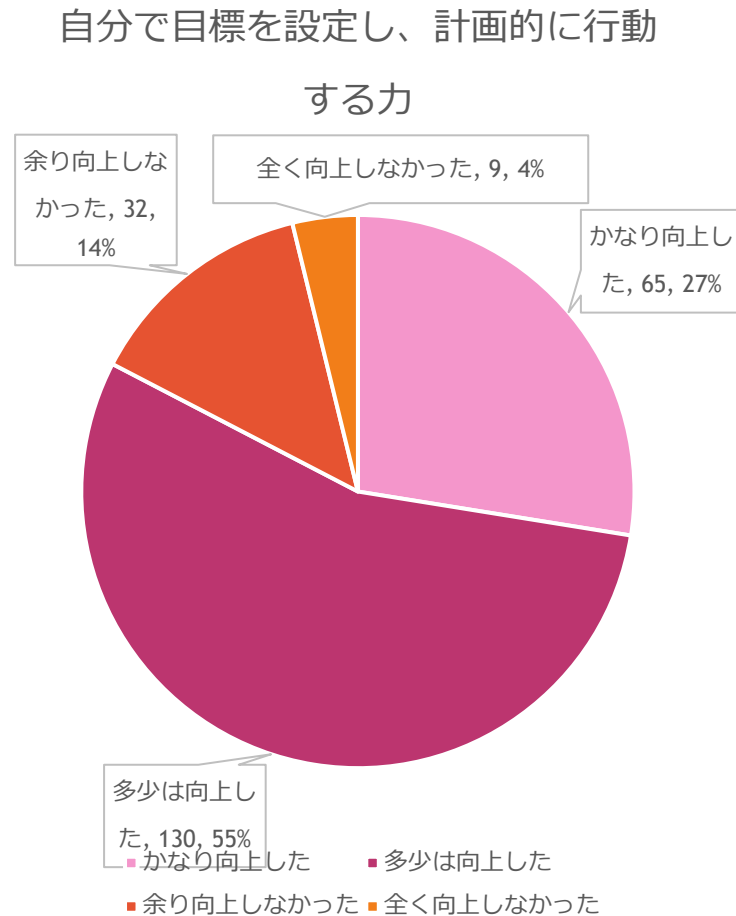
- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。ものごとを批判的・多面的に考える力については、28%（去年は26%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、86%（去年は85%）の学生が向上したと答えている。

## 7-8 現状を分析し、問題点や課題を発見する力



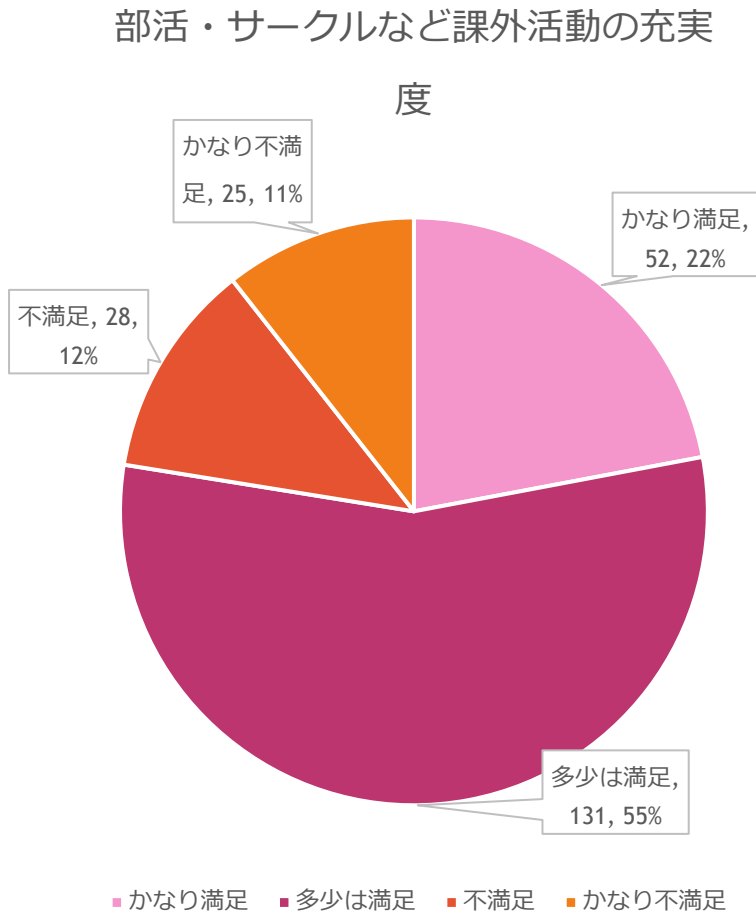
- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。現状を分析し、問題点や課題を発見する力については、昨年同様24%（昨年は22%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、85%（昨年は88%）の学生が向上したと答えている。

## 7-9 自分で目標を設定し、計画的に行動する力



- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。現状を分析し、自分で目標を設定し、計画的に行動する力については、27%（昨年は28%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、昨年同様 82% の学生が向上したと答えている。

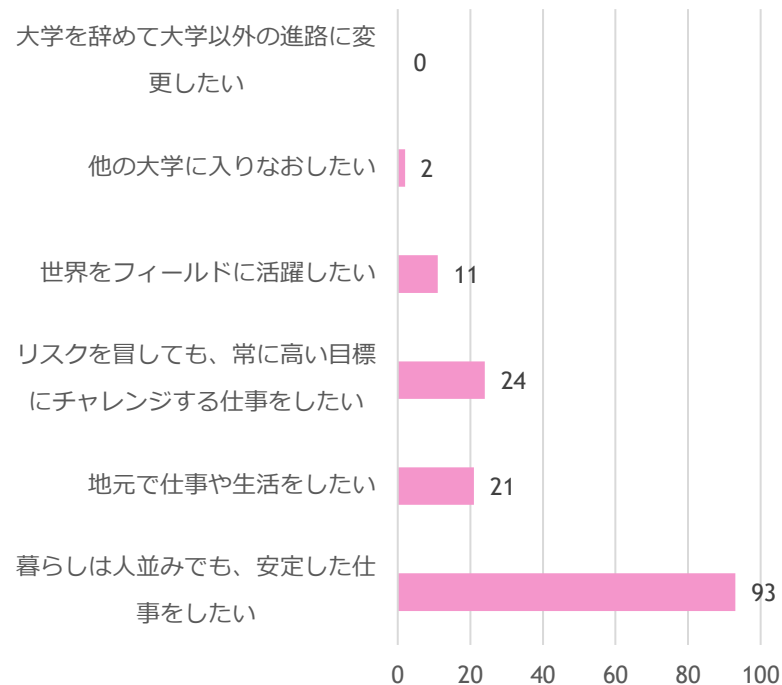
## 7-10 部活・サークルなど課外活動の充実度



- 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。部活・サークル、学友会活動など課外活動の充実度については、昨年同様77%の学生が「かなり満足」または「多少は満足」と答えている。3-3の質問項目で、48%（昨年は51%）の学生が部活動やサークルには所属していなかったが、コロナ禍が終わってから、年々、何らかの形で部活動やサークルに参加する学生の数は増加してきている。新しいサークルが次々に生まれている状況を併せ考えると学生の課外活動の充実へ向けてより望ましい方向へ進んでいると思われる。

# 8-1 あなたの将来の希望について、どれが当てはまりますか？（複数回答可）

8-1 あなたの将来の希望について、どれが当てはまりますか？（複数回答可）



- ▶ 8-1の質問は学生の将来の希望について問うたものであるが、例年通り多くの学生が安定志向であることが分かる。しかしながら、例年一定数存在してきた「世界をフィールドに活躍したい」と考える学生（5%→11%）や「リスクを取っても高い目標にチャレンジしたい」と考える学生（22%→24%）は、今年度は割合を増やしている。

なし

なし

なし

なしです。

経験と経歴を強化する

将来は人の役に立つ  
仕事をしたいです。"

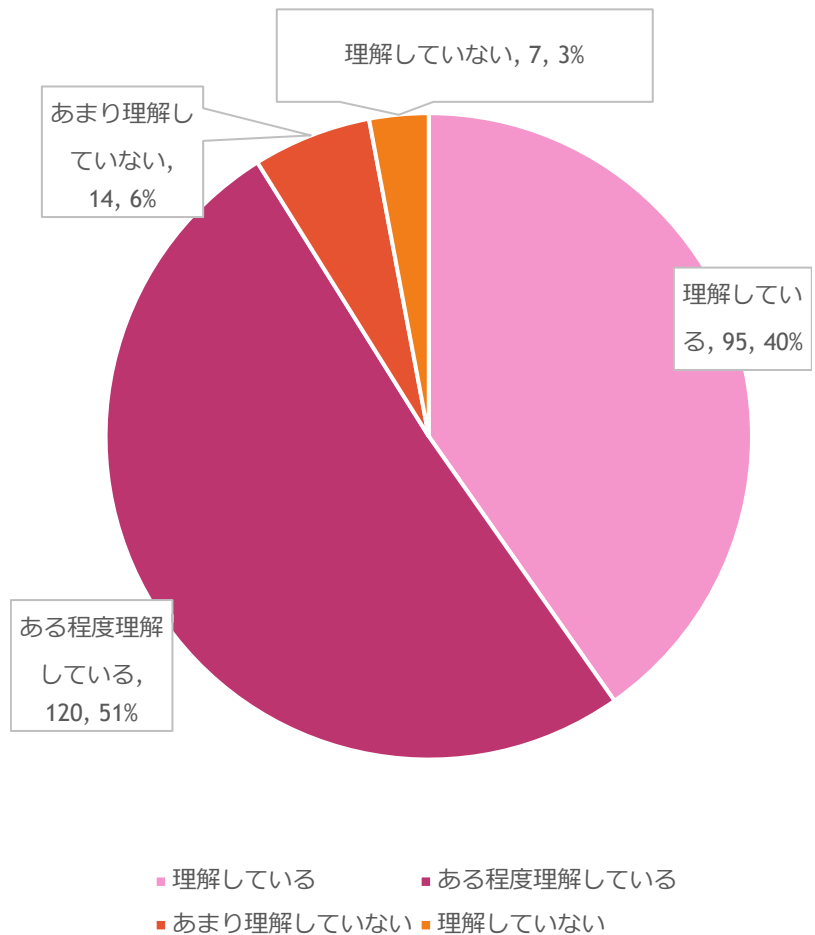
働きたくない

特にありません

## 8-2 上の質問で「その他」と答えた方に質問します。「その他」の具体的な内容を書いてください

- ▶ 左の表は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

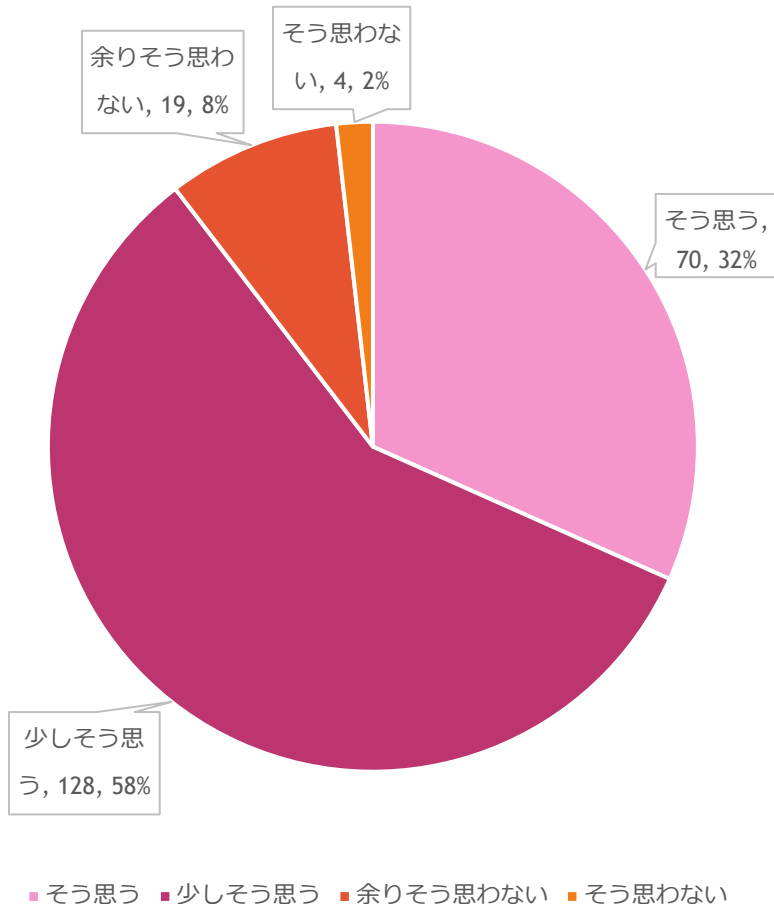
9-1 建学の精神の理解度



9-1 本学の「建学の精神」である「至心」「報恩感謝・自愛と奉仕」「容（かたち）は心と呼び、心は容（かたち）を呼ぶ」を理解していますか？

- ▶ 本学の「建学の精神」の理解に関する質問である。授業等で建学の精神に触れることも多いためか、「理解している」学生は全体の40%（去年は45%）を占め、「ある程度理解している」学生を加えると、全体の91%（去年は86%）の学生が理解しているという結果となった。少なくともある程度以上理解している学生は4年続けて9割前後を占めており、教育の成果が出ているものと考えられる。

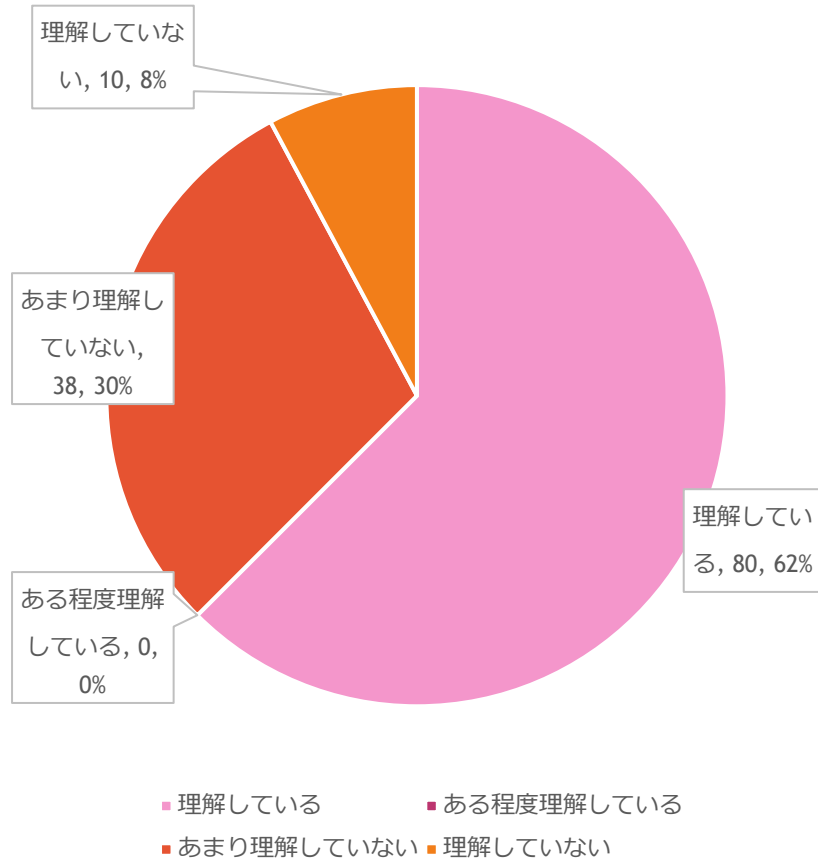
9-2 あなたは「建学の精神」を意識して実行できていると思いますか？



9-2（上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ）あなたは「建学の精神」を意識して実行できていると思いますか？

- ▶ 本学の「建学の精神」の理解に基づいて、日ごろの生活にその精神が生かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の32%（去年は36%）を占め、「少しそう思う」学生を加えると、昨年同様全体の90%の学生が、建学の精神を理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。

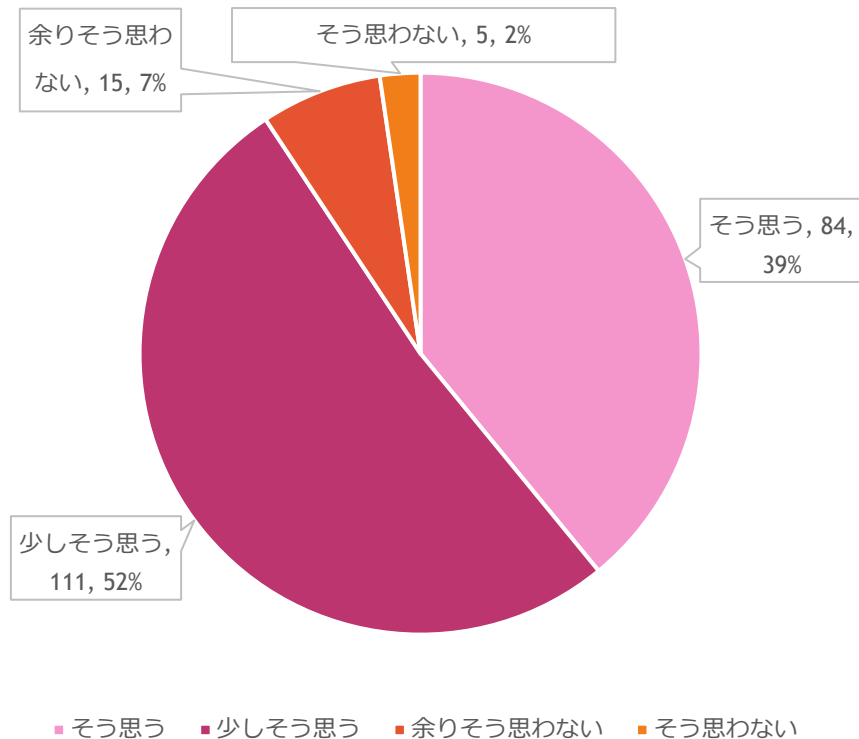
### 9-3 本学の「アドミッションポリシー」を理解していますか？



## 9-3 本学の入試要項に記載されている「アドミッションポリシー」（入学者の受け入れ方針）を理解していますか？

- ▶ 本学の「アドミッションポリシー」の理解に関する質問である。「理解している」学生は昨年同様全体の62%を占めている。しかしながら、今年度も「ある程度理解している」学生が0%であるため、加えても62%のままである。あまり理解していない、または理解していない学生も昨年と同じ38%である。4割に近い学生が入試要項などをあまり気にせず入学している可能性が考えられる。アドミッションポリシーの学生への周知は、引き続き本学の課題の一つとなっている。

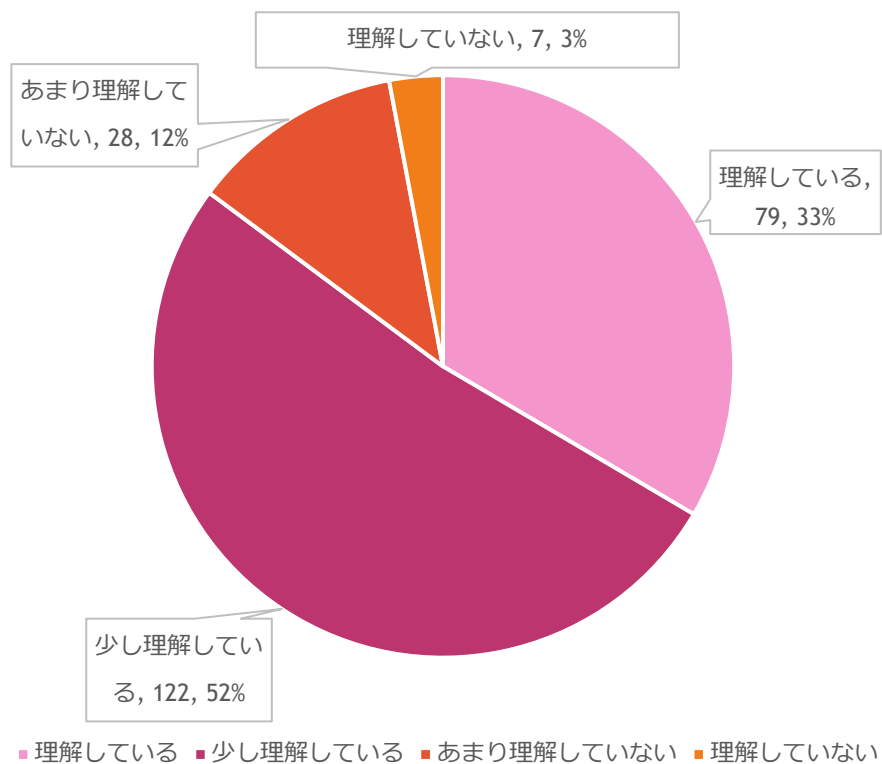
9-4 あなたは「アドミッションポリシー」を意識して実行できていますか？



9-4（上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ）入学後に、あなたは「アドミッションポリシー」を意識して実行できていますか？

- ▶ 本学の「アドミッションポリシー」の理解に基づいて、日ごろの生活にその内容が活かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の39%（去年は35%）を占め、「少しそう思う」学生を加えると、昨年と同じ全体の91%（去年は85%）の学生が、本学のアドミッションポリシーを理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。しかしながら、9-3でみたように、元々本学のアドミッションポリシーを理解している学生の人数が限られているので、やはり、学生全体の理解を促すような工夫が必要だと思われる。

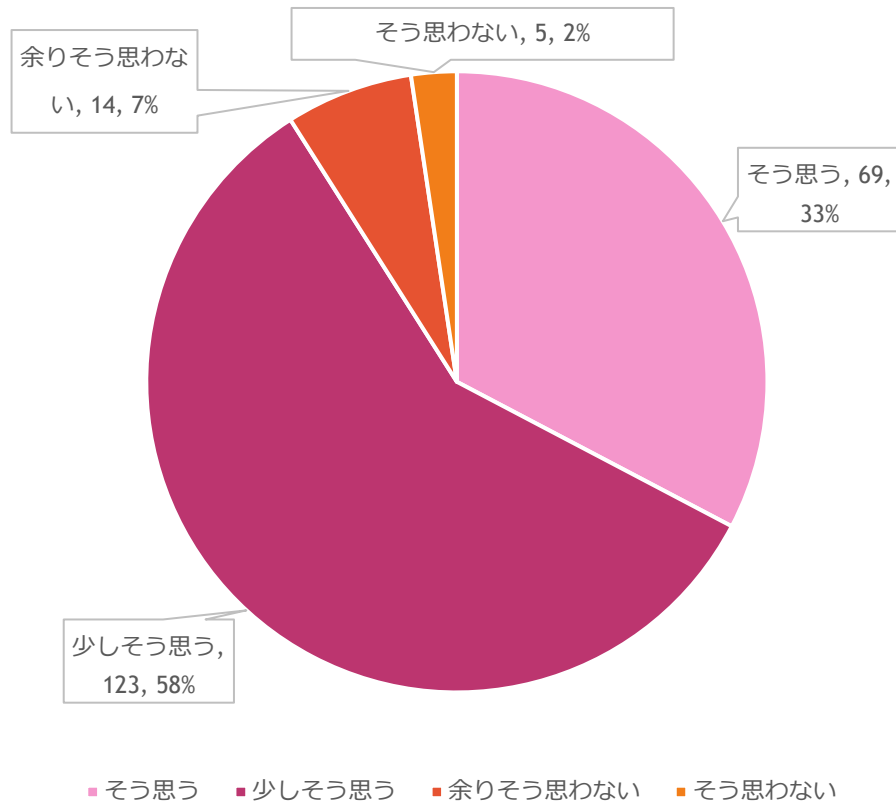
9-5 本学の学生便覧に記載されている「ディプロマポリシー」（卒業認定・学位授与の方針）を理解していますか？



## 9-5 本学の学生便覧に記載されている「ディプロマポリシー」（卒業認定・学位授与の方針）を理解していますか？

- ▶ 本学の「ディプロマポリシー」の理解に関する質問である。「理解している」学生は全体の33%を占めており、「少し理解している」学生を加えると、全体の85%（去年は67%）の学生が理解しているという結果となった。昨年度と比較して学生の理解度が大きく伸びている。オリエンテーションや配布の資料などで学生の理解を促した効果があったのではないだろうか。

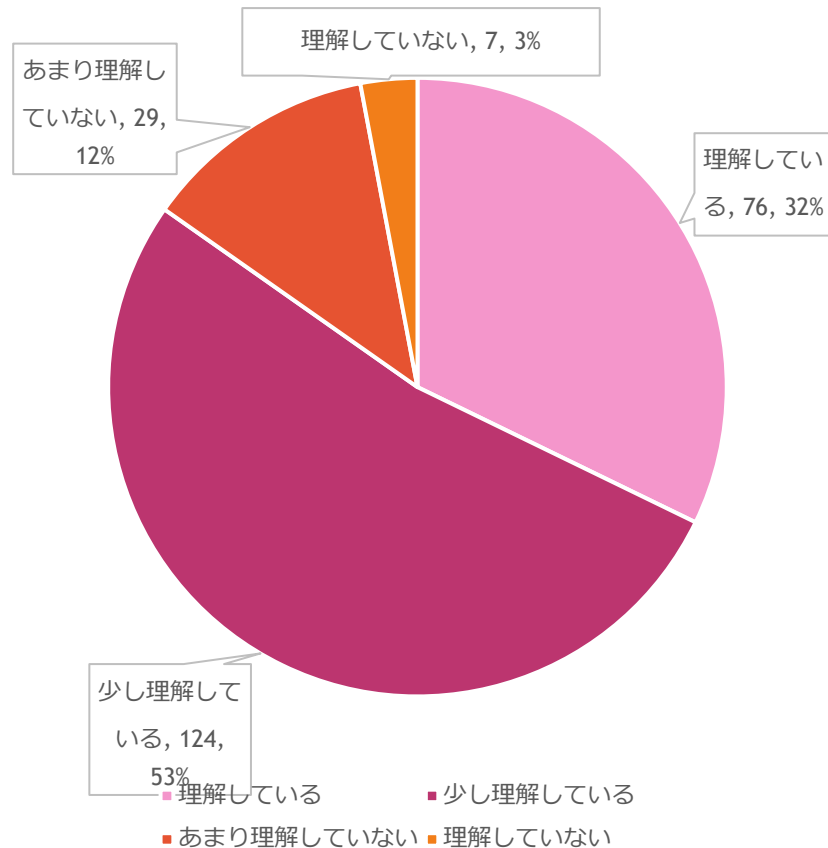
あなたは「ディプロマポリシー」を意識して、卒業認定・学位授与に向けて努力できていると思いますか？



9-6 (上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ) 入学後に、あなたは「ディプロマポリシー」を意識して、卒業認定・学位授与に向けて努力できていると思いますか？

- ▶ 本学の「ディプロマポリシー」の理解に基づいて、日ごろの生活にその内容が活かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の33% (昨年は36%) を占め、「少しそう思う」学生を加えると、全体の91% (昨年は90%) の学生が、本学のディプロマポリシーを理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。

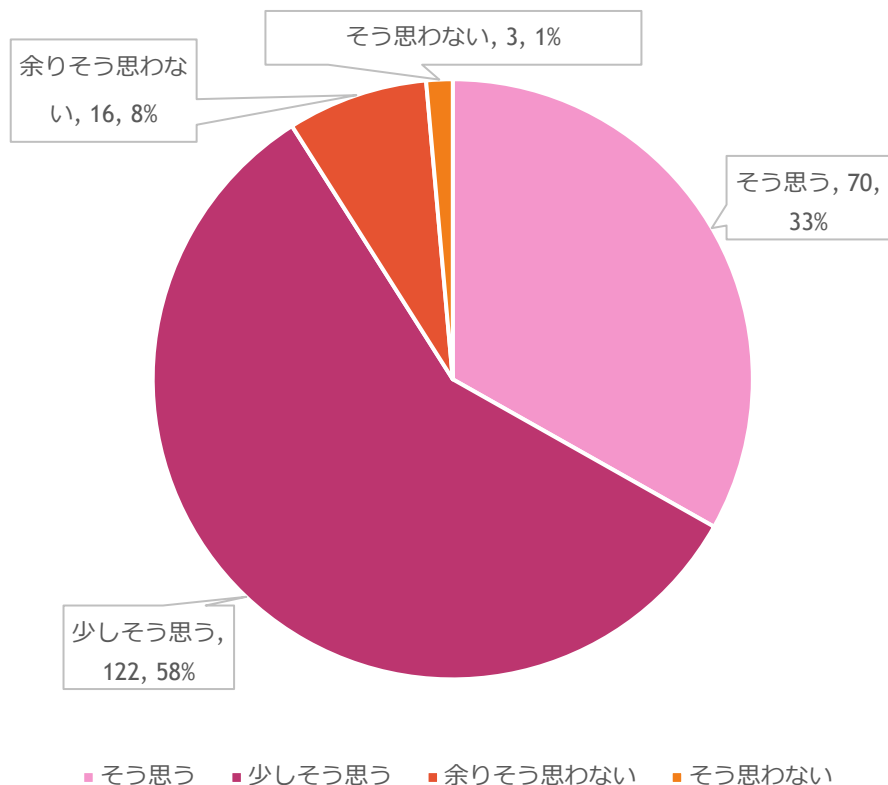
9-7 本学の「カリキュラムポリシー」を理解していますか？



## 9-7 本学の学生便覧に記載されている「カリキュラムポリシー」（教育課程編成・実施の方針）を理解していますか？

- ▶ 本学の「カリキュラムポリシー」の理解に関する質問である。「理解している」学生は全体の32%を占めているが、「ある程度理解している」学生を加えると、全体の85%（昨年は67%）の学生が理解しているという結果となった。初年時教育等で力を入れたことが功を奏したのか、学生の理解が大幅の伸びていることは喜ばしい。

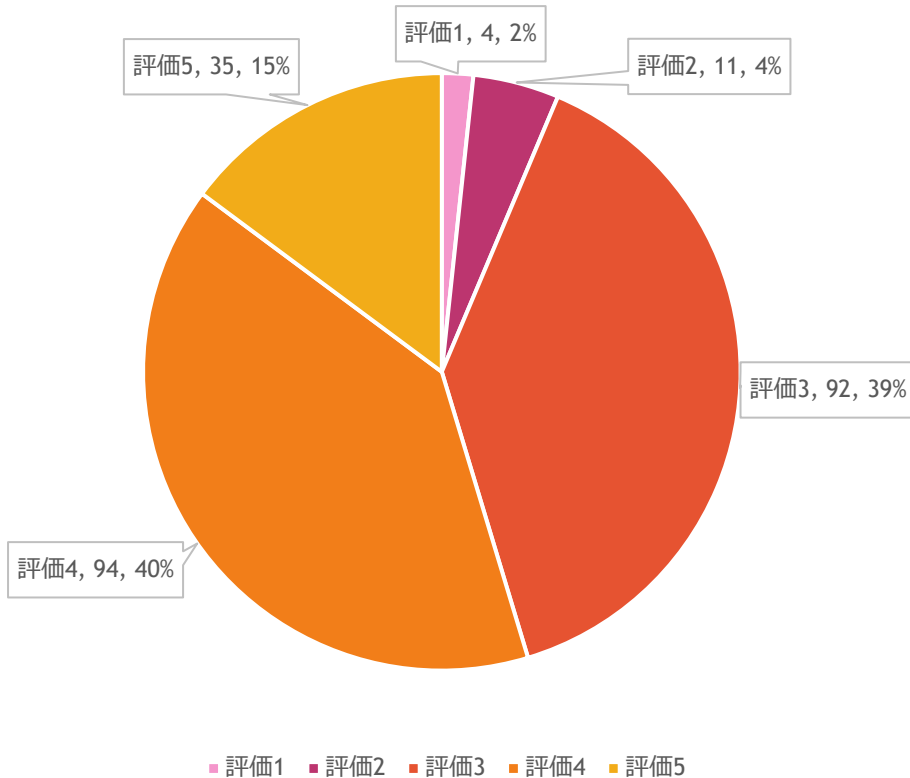
9-8 本学は、基礎から応用までを体系的に学べるカリキュラムと授業が実行されていると思いますか？



9-8 (上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ) 本学は、基礎から応用までを体系的に学べるカリキュラムと授業が実行されていると思いますか？

- ▶ 本学の「カリキュラムポリシー」の理解に基づいて、日ごろの生活にその内容が活かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の33%（昨年は38%）を占め、「少しそう思う」学生を加えると、全体の91%（昨年は93%）の学生が、本学のカリキュラムポリシーを理解した上で、授業を実践的に学修に活かすことが出来ているという結果となった。

10-1 この大学における教育全体について、あなたの評価は5段階のうちいくつかですか？



## 10-1 この大学における教育全体について、あなたの評価は5段階のうちいくつかですか？

- ▶ 本学の教育への総合的な評価を問う質問である。昨年同様 5が15%、4が40%（昨年は38%）であり、55%（昨年は53%）の学生が高得点を付けている。昨年度同様、今年度も4が最も多く、ほぼ同じ割合で3がそれに続く結果となった。全体としての学生の評価は、昨年度よりも微増しているが、今後も学生の学習環境を改善するなど、充実した学生生活を送る手助けを大学が積み重ねることによって、本学に在籍し卒業していく学生たちのより大きな満足感に寄与できるよう努めたい。

Everything is good.
PCクリニックやトイレなどの設備が不十分な
ありがとう
サークルや部活動が少ない他大学と協力して他のボランティア活動や運動もしてみたい
トイレにウォシュレットがついていない
トイレ汚い、食堂高い、お菓子少ない、高い
もう少し緩くして欲しい
よほどの会社はC言語やJavaを使用しているのに、Pythonを使う授業が多いところ。
一部の先生の教え方が下手。よく分からない部分が多い
学内が小さく教室も限られているし、授業中一部の生徒の騒がしさが妨げになっている。
学費
競技場です
今まで良いです
施設がきたない
時々授業の内容が聞き取れない
授業において、教授側から教えたいという気持ちを感じない。
授業中などの、黙るべきタイミングに喋り続ける空気の読めない留学生がいる
食堂のご飯の種類を増やして欲しい
食堂の並ぶ時間で時間取られすぎて授業に間に合わないからどうにかして欲しい。
水道がないので、のどが渇いたときは自動販売機で水を買わないと飲めない。だから水道が欲しいです。
中途半端なところまで教えてそれ以降は成長しない”
立地上難しいこととは思いますが、虫が多めな点。
留学生が多すぎて生徒の民度が悪い
留学生の態度が悪すぎる点
留学生の中で、臭いがきつい方がやや多くいる。大学側で何かしらの対策してほしい。
留学生はジムを使えません。この大学ではスポーツ大会がなく、スポーツの道具を使って練習や遊ぶこともできません

# 10-2 もしあれば、この大学について不満を感じている点について書いてください。

- ▶ 左は、上記の質問に対して、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

# 10-3 もしあれば、 この大学に入学して良 かったと思う点につい て書いてください。

▶ 左は、上記の質問に対して、その具体的内容を答えてもらった結果である。

Everything.  
ありがとう  
この大学に入ってよかったのは、先生がやさしくて勉強がわかりやすいところです。  
サークルにたくさん時間を使えた  
学生人数が多くない  
学費が安い  
楽しい  
教師と生徒の距離が近い  
教師陣との距離が近いので気軽に会話や相談ができる  
教授との距離が近い  
経営、情報二つの分野を専門的に学ぶことができ、いろいろな行事に参加しやすい点  
経営とデータサイエンスについて学ぶことが出来るから入学して良かったと思います  
高校までより専門的で深い知識を学べます。自分の興味のある分野を選んで研究できるのが魅力です  
国際的な視野をかなり蓄えることができると思います先生も親身になってくれるので専門知識なども深めやすい  
と思います  
私に日本語の勉強を督促する  
自分の進みたい職業に関する事がよく知れて、どんな行動をしていけばいいかわかるようになった  
自分自身の努力次第でit系の大手を目指す。  
自由度が高い。  
授業方法が多様で、自分に合った学習スタイルを選べる  
就職する時よく手伝うこと。  
水道以外の全てのことが良いです。  
成長になりました事です。  
先生がたの教える方法とか就職のサポート後は留学生サポートは良かったと思いました  
先生と学生の距離が近いというのほとても良かった。実際に先生の部屋に向向いて、直接ご指導していただいた  
経験は、今も大きな糧となっている。  
素敵な先生に出会えた点。  
他大学と比べて、教授との距離が近く親しみやすい所  
多くの授業が生徒が発言しやすい環境で理解をその場で深められた。  
特にないです。  
特になし  
日本人の友達でき、日本語の能力が高まりました。また、色々なイベントに参加して良かったと思いました。  
日本人以外の友達が出来たこと人間関係を十分に深まったところ  
幅広く情報技術を学べた点。  
問題を自分で解決できるようになりました。  
陸上が楽しいです  
陸上競技に集中できる点  
留学生が多いため、色々な価値観を持った人と話し合える場があり、自身のコミュニケーション能力の向上を図  
ることが出来て良かったと思っています。  
留学生が多いので今まで接する機会がなかった人と多くかわることが出来た。また自分の興味のある分野の教  
員がいるので、今後いろいろなことが学べると考えることが良かった。